



本校 HP

# 光満つ

札幌市立南が丘中学校 | 学校便り | 令和7年3月25日



## 「修了式にあたって」 校長 中川 桃子

先日この学び舎から巣立った令和6年度の卒業生は、小学校のころからコロナ禍で幾度もの我慢を強いられ、行事や活動も大きな制限があった生活を送っていました。友達と大きな声を出しながら遊ぶことも、楽しくおしゃべりをしながら食事をするのも、大きな声を出して歌を歌うこともできない時間がありました。

そんな卒業生を在校生皆さんのあたたかな心が込もった装飾、壁画、そして合唱で先輩達への感謝と祝福の気持ちが確かに伝わっていたことと思います。ありがとうございました。

さて、ここで一編の詩を紹介します。私が小学校の時に、担任の先生が学級だよりで紹介してくださった詩です。小学生の自分には難しかったけれど、折あるごとに思い出し、今も、心の糧となっている詩です。

『少年よ 小さくかたまるな』 サトウハチロー	少年よ 空気をかみしめながら 自分をためし 自分と戦え	少年よ 小さくかたまるな 動きが取れなくなる	冒険がある 夢がある 願いをかなえなくなる	少年よ その中におもいきりひたり その日その日のくらしに すばらしい弾力をつける
---------------------------	-----------------------------------	------------------------------	-----------------------------	---

少し短くしましたが、作者の思いは伝わるとおもいます。

「自分にはできないと思うたいていの出来事は、できないのではなく本当はやりたくないだけなのだ。」という人もいます。これくらいでいいやとか、面倒だからもういいやとか、やる前からどうせできないとか、自分の中にある才能の可能性を「できない」と決めつけて、台無しにしてしまっているということをこの詩から学びました。

やっても、やってもうまくいかないことはたくさんあります。こんなにやっているのにと思うこともあります。でも、失敗ばかり気にする人は失敗しか求めることはできないのです。

諦めるのはいつでもできるのです。諦めないのは今しかできないのです。

苦しくても、辛くても、周りには相談にのってくれる人たち、一緒に頑張っている人たち、たくさんの支えになってくれる人たちがいます。

自分で深く考え、「やってみる」ことを大切に残りの中学校生活を「やり抜いて」ください。

4月からは学年が上がります、その準備のために、しっかりと根を生やし、今の自分にとって大事なことを確認する春休みとしてください。

短い春休みではありますが、体調を崩すことなく、春になった解放感で事件に巻き込まれたり、交通事故に遭ったり、他人に迷惑をかけたなどがないように、くれぐれも気をつけてください。

4月、皆さんが元気に新たなスタートを迎えられることを期待しています。



## 春休みの生活についてのお願い 児玉 純一

令和6年度もまもなく終了し、春休みが始まります。子どもたちには、春休みを利用して心身を整え、4月からの新年度に備えてほしいと思いますが、リラクセスのあまり、思わぬ問題や事故にあってしまうのも春休みの特徴です。

春は、雪どけとともに車のスピードが上がり、交通事故が増える時期です。特に、久しぶりに自転車を利用する際は交通ルール、マナーに気をつけてほしいと思います。

また、春休みはスマートフォンを使用する機会が増え、それに伴い SNS 等のトラブルも起きがちです。不用意に外部の人とつながらない、友人間のやりとりは相手の気持ちを尊重し、マナーを守って行うことなどが大切です。

ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。



## 離任・退職にあたって

### 中川 桃子 校長 ⇒ 西野中学校

せっかくの「ラベンダーの街」への赴任でしたが、コロナ禍の中での学校経営でしたので、ダイナミックに事を進めることもままならず、至らぬこと、ご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思えます。しかしながら、保護者の皆様、地域の皆様には、本校教育に深いご理解、ご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。感謝しております。今後とも子どもたちが「理想の空へと翔べる」ようにご支援賜りますようお願いいたします。

### 高橋 圭史 先生 ⇒ 真駒内曙中学校

元氣な皆さんと3年過ごして思ったことは、「人生で大事なのは一生懸命頑張ること」でした。できることを一生懸命に、できなくても一生懸命に努力している人を見たら、誰だって助けてあげたくなりますね。逆に言えば、世の中は助け合いが基本ですが、一生懸命な人でないと、心のこもった支援は受けられないということです。だから、苦手なことこそ一生懸命に元氣良くやりましょう。人生は挑戦が続きますよ！しっかり準備して、思いっきりやってみて、本当に困ったときは助けてもらえるように、しっかり頑張りましょうね。

### 佐久間 勇史 先生 ⇒ 伏見中学校

南が丘中学校に着任したのはコロナ前の平成31年4月でした。その頃はPTA事務局を担当していたのですが、PTAの方々にも温かく接していただいたことがとても印象に残っています。あれから6年経ちましたがその間、素晴らしい生徒達と社会科の授業や学校行事等で一緒に過ごすことができ本当に幸せでした。あの授業スタイルで学んだことをこれからの色々な学びに生かしてもらえると嬉しいです。ありがとうございました。

### 中原 三千代 先生 ⇒ 北野台中学校

落ち着いた環境の中で、当たり前ですが学校生活を送ることができる南が丘中学校は素晴らしい学校だと思います。1年という短い期間でしたが、愛着あるこの地域で、心優しい生徒たちと過ごす事ができたことに感謝いたします。皆さんの活躍を陰ながら応援させていただきます。

### 佐々木 梨乃 先生 ⇒ 平岡中央中学校

いつも生徒の皆さんの明るい挨拶や歌声に元氣をもらっていました。皆さんの素敵な歌声をこれからもたくさん響かせてほしいと思います。保護者の方々にも温かく見守っていただき、支えていただきましたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

### 佐藤 拓也 先生 ⇒ 伏見中学校

授業や日々の会話を通じて、生徒のみなさんが成長する姿を見ることができたのは本当に幸せでした。失敗しても立ち上がる姿や、人を思いやる優しさ、そして何よりも前向きに挑戦する姿勢は、私自身も多くを学ばせてもらいました。これまで本当にありがとうございました。皆さんと過ごした時間は一生忘れません。